



# おがたっ子



《めざす子ども像》  
「元気に登校、笑顔で下校」  
おもいやる子  
がんばる子  
たのもしい子

【緒方小・緒方中 共通教育目標】 未来に向かって 生きる力を備えた 緒方っ子の育成

9月版 文責：佐藤 公彦 TEL0974-42-3150 Fax0974-24-4020

## 6年ジオサイト等 現地学習

8月26日に6年生が緒方町内各所で現地学習を行いました。豊後大野市資料館館長の高野弘之さんらに案内・解説をお願いし、「緒方上井路高石垣トンネル（軸丸入口）」「長谷緒井路烏嶽円形分水（小原）」「滞迫峡」を巡りました。

緒方の田畑を潤す井路の仕組み、先人の知恵を学びました。滞迫峡では柱状節理を見ながら弁当。洞窟探検も行いました。

「円形分水の仕組みがすごくてびっくりしました」  
「井路や円形分水は昔の人たちの知恵だと思いました」  
「火砕流に巻き込まれて蒸し焼きになった炭化木がうもれているどうくつがあってすごいなあと思いました」

「9万年前、阿蘇山の噴火で流れ出たと聞いてびっくりしました。噴火でここまで影響があるとは思いませんでした」

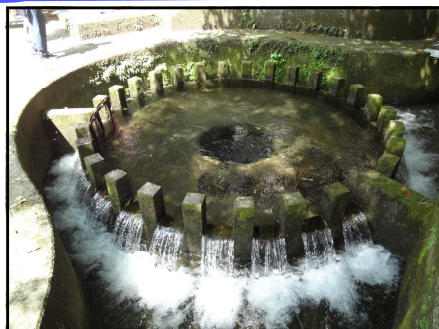
「9万年前の緒方はどんな風景だったのだろうと想像しました」  
「身近な川や自然の中にもジオがあるのかなと興味を持ちました」

「緒方町はたくさんの自然があることを改めて知り、良いところに住んでいるんだなと感じました」

「これからも豊後大野市のジオについてたくさん知りたいと思いました」

「今回学んだことを家族に話そうと思います」……

このような感想が持てる6年生と緒方の素材のすばらしさに心が晴れやかになりました。



## 1人1台端末を活用した新たな学び

緒方小の児童は「GONちゃん（iPad=タブレット端末）」の扱いに慣れており、意欲的に学習する姿が見られます。GONちゃんを使うと「自分の考えを持てたり友だちに考えを伝えたりすることもできる」とする児童が多くいます。

一方で、考えに自信が持てなかったり、みんなの前で表現することが苦手だったり、途中で考えることをあきらめてしまうこともあります。

そこで緒方小では、児童がGONちゃんを使って主体的に活動し、見通しを持って粘り強く試行錯誤しながら自分の考えを持ち、対話により自分の考えを広げ深められるような授業づくりを研究しています。そのような中で、児童に自信が付き、表現力の向上にもつながると考えています。

9月15日に4年生の研究授業がありました。国語『一つの花』で、父親の気持ちをGONちゃんのシートに書いてそれをペアで見せながら出し合ったり、父親の言葉の「一つだけのお花」に隠されている思いを探る学習では大画面テレビに友だちの考えたシートを映し出したりして、考えを広げ深める組み立てになっていました。1時間の授業すべてがGONちゃんに向かっていくのではなく、紙の教科書を読んで線を引いたり、ノートに課題やまとめ・振り返りを書いたり、互いに向かい合って話し合ったりといったアナログな部分も並行しています。

GONちゃんを適切かつ効果的に活用して、思考力・判断力・表現力の向上につなげていきたいと思っています。

